

IDCJ 評価部主催「第 50 回プロフェッショナル統計分析ワークショップ」
(2026/3/09, 11 & 13) (Zoom 開催) の事後アンケート

1. 「ランダムアサインメント(無作為割付)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 満足:手を動かすことで理解が進みました。
- ここは完全に理解できました。
- ランダム発生機能は水質データ解析および分析精度管理トレーニング用のデータセット(いずれも模擬水質データ)を作成するために使用したことがあります。実践的な内容をお教えいただき、手法の理解が深まっただけでなく、分かりやすい「教え方」も大変勉強になりました。

2. 「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 標準偏差と標準誤差の違いが分かり難かったのですが、佐々木さんが何度も説明いただいたので理解することができました。
- 満足:手を動かすことで理解が進みました。
- ここまでは、環境データ分析や分析精度の技術指導で扱ったことがありますが、その知識は独学・我流でした。「母集団」と「サンプル」の考え方の違い、 $\pm 1SD$ ・ $\pm 2SD$ の意味など、基本的な点を確認・学習できた良い機会となりました。

3. 「t検定(事前・事後のt検定、2群のt検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 満足:手を動かすことで理解が進みました。実務的な補足をいただいたのは大変参考になりました。なんとなく理解出来ず苦手意識がありましたが、精緻は数式の理解でなくあくまで使い方ということが分かり、統計分析がより身近になりました。
- T 値と P 値は手計算で算出したことで、それぞれの意味がよく分かりました。
- t 検定、比率の検定いずれも、計算練習を多くやらせていただいたこと、特に原理原則に立ち返った計算練習は、統計手法の学習だけでなく、教材の構成についても勉強になりました。Likert scale は技プロで行われる Capacity Assessment で馴染みがあります。これまでの経験ではこれを定量評価として扱っていますが、データ解析はレーダーチャートの形がどう変わったか、と言うレベルにとどまっています。そこである国の Baseline と Endline の Capacity データで検定による評価を試みたことがあります。しかし回答の分布が自然ではなく、参加者全員で答え合わせをしている、上司の目を気にして本当の答えを書かない(自分をよく見せる)、いわゆる知ったかぶり・あるいは過度に遠慮している、等の組織の雰囲気・国民性による要因が現れ、検定結果と実態はかならずしも一致しないこと。むしろインタビューで聴きとった自由コメントや実際のパフォーマンス(測定操作や水処理施設の運転管理状況)の観察による定性的な情報が参考になるものだと感じているところです。アンケートに対する影響要因を排除する手法(質問項目、インタビュー調査の方法等)、また定量評価と定性評価をどのように組み合わせるか、が今後の研究課題と考えています。

4. 「比率の検定(カイ二乗検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 同上
- 満足:手を動かすことで理解が進みました。

- この辺から難易度が上がった感じがしました。計算はできるのですが、その計算手法の根拠を理解するのに時間がかかりました。

5. 「回帰分析」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 満足：手を動かすことで理解が進みました。実務的な補足をいただいたのは大変参考になりました。
- 回帰分析はこれまでも仕事で使っていたのですが、今回、手計算でその構造を知ることができ、その意味が分かったような気がします。ただ、最後に Formal Formula を見た時には、復習が必要と感じました。
- これまで回帰分析と言うと、毒性における投与-作用曲線の検討や水質浄化と浄水薬品の投与量の関係の検討、という程度の経験・知識でした。相関係数と R2 の意味、線形近似を使う意味も分からず、EXCEL から出てきた数字をよく理解しないで使っていた、単に相関係数の大小だけを見ていた、と言うことを強く認識しました。複数の要因(x)に対する回帰分析を実際に行ったのは今回が初めてです。これもわかりやすく教えていただき、特に直線近似における係数の意味は、演習で理解が深まりました。

6. 「事前研修：インパクト評価の基本デザインと実例」について、満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。

- 様々な事例を紹介いただき、ありがとうございます。報告書を読むだけでは理解していなかった部分、「そういうものか」と読み飛ばしていたかもしれない部分まで掘り下げたご説明をいただきました。
- 非常に面白かったです。人によるのかもしれませんが、国や組織によって評価の注目点が異なったり、結果の提言の内容が違うところが興味深かったです。
- 満足：事前に統計講座の全体感が把握できて、とてもよかったです。

7. 対面と Zoom のハイブリッド開催については、いかがでしたか？

- 対面ではグループディスカッション、ワークショップを通してより理解を深められるメリットがあると考えています。今回はオンラインでも適宜グループディスカッション演習による「考える時間」「発表する機会」を作っていただき、理解の促進になりました。
- 特に問題ございません。
- まったく問題はなかったです。

8. その他、ご自由にコメントやご要望をお書きください。

- 今回のセミナーは統計の基礎を学べただけでなく、教え方、教材の内容についても勉強させていただきました。今後ご指導のほどよろしくお願いいたします。
- エクセルシートなど英語表記のみの場合、日本語として何を表現しているのか？をすぐに思い出せませんでした。別紙でよいので英和対比表などがあると助かります。

(その他、コース構成に関するコメントがありました)

(事後アンケートでいただいたコメントを掲載しています。)

以上